

今日の集会のめあてには、「いじめをなくそう」があります。テストのように、これが答えです、と言えたらいいんですが、正解はありません。

私が毎日努力しているめあては、「否定しない・馬鹿にしないこと」です。そのために、人の話を聞いた後は、「でも～」は使わないようにしています。代わりに、「～と言うことは～。こここのところを説明して～」を「受け止め、一緒に考える」ことを大事にしています。

例えば、休み時間に言い合いからけんかになることもりますよね。まず、けんかの内容だけを考えます。けんかをした人が、気の合う人とか昨日けんかした人とか一切関係なく忘れます。

けんかをした人の話を聞いた後、「と言うことは、こう言われたから、やりかえしたんだね。」と整理した上で、「うまくやっていくためにできることはないかな」と言って「よりよい方法」を一緒に考えていく、ということを考えます。

つまり、人とけんか（問題）を分けて、けんかから学ぶという姿勢です。

もちろん、悪口や無視、物隠し、ズボン下ろしなど、大変ないじめは許されることではありません。でも、「いじめは絶対に許されることではありません」と、100万回言っても、いじめがなくなるわけではありません。一人一人の日々の細やかな取組の積み重ねが、大変ないじめを生み出さないことにつながると 생각합니다。まずできることから始めることが大切だと思います。

一人一人は違う個性をもっています。その相手を変えることはとっても難しいです。でも、いじめを生み出さないように自分を変えていくことはできます。

相手や前のことは変えられません。でも、自分と未来は変えることはできます。

今日の素敵な会を、明日からの生活に生かしてほしいと思います。